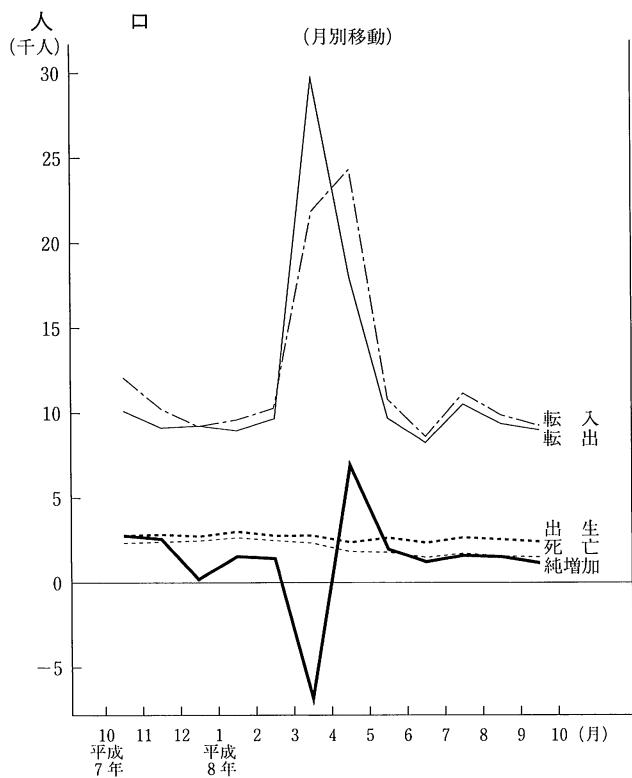
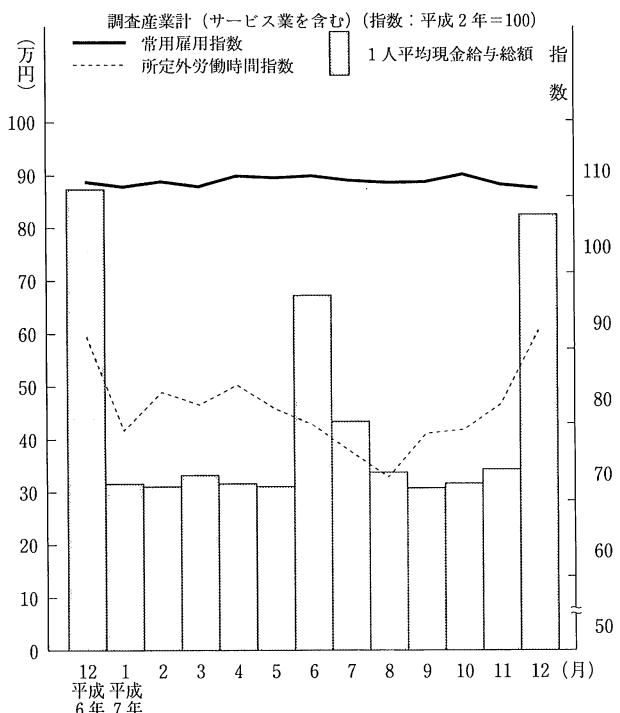


●今月の主な動き

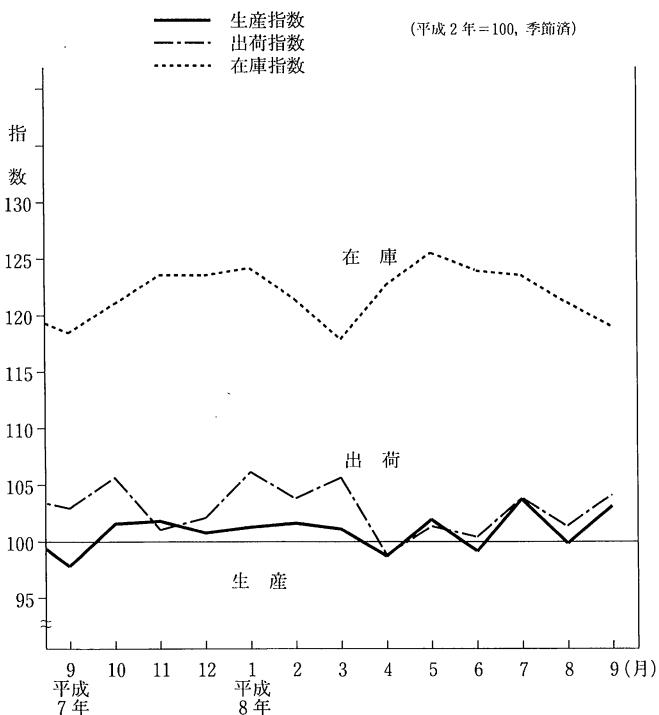
今月の主な動き



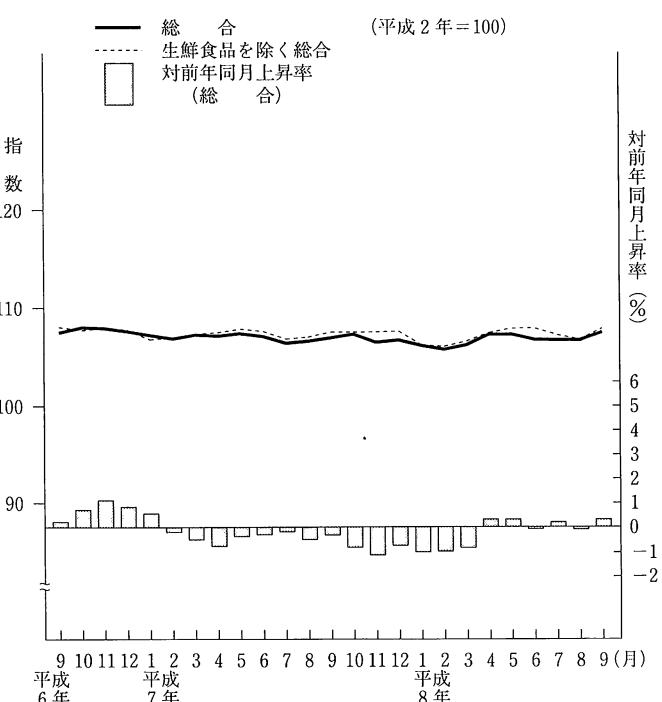
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数（生産・出荷・在庫）



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………企画部統計課

■人口（10月1日）

本県の人口は、9月中に1,158人増加し、10月1日現在で、2,968,774人（男1,483,130人、女1,485,644人）となった。

内訳は、自然動態で、905人（出生2,403人、死亡1,498人）増加し、社会動態で253人（転入9,236人、転出8,983人）増加した。前年同月と比べると13,244人（0.4%）の増加であ

る。

市町村別では、増加が15市54町村、減少が5市30町村、増加なしが1町である。

世帯数についても9月中に874世帯増加し、938,887世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用（7年12月）

1. 平均賃金の推移

12月の現金給与総額は、調査産業計で821,860円、対前年同月比5.7%減、このうち、きまって支給する給与は305,132円、対前年同月比もちあいであった。また、このうち、所定内給与は275,232円、対前年同月比0.3%減であり、超過労働給与は29,900円、対前年同月比3.3%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比4.5%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。
平成8年1月分の速報値は、平成8年抽出替えに伴うギャップを修正した後、公表の予定です。

2. 労働時間

12月の総実労働時間は、調査産業計で165.3時間、対前年同月比0.5%増であった。このうち、所定内労働時間は149.4時間、対前年同月比0.5%増、所定外労働時間は、15.9時間、対前年同月比もちあいであった。

3. 雇用の動き

12月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.2%減であった。

■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉（9月）

本県における平成8年9月の“鉱工業指数”（平成2年=100）は、季節調整済指数で、生産が103.4、出荷が104.3、在庫が118.8で、前月比は、生産が3.2%の上昇、出荷が2.6%の上昇、在庫が1.6%の低下であった。前年同月比（原指数）は、生産が5.8%の上昇、出荷が1.8%の上昇、在庫が0.0%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、パルプ・紙・紙加工品工業、石油・石炭製品工業、電気機械工業等が上昇し、鉱業、輸送機械工業、非鉄金属工業等が低下した。出荷では、電気機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業、食料品・

たばこ工業等が上昇し、非鉄金属工業、鉱業、輸送機械工業等が低下した。在庫では、パルプ・紙・紙加工品工業、金属製品工業、非鉄金属工業等が上昇し、精密機械工業、鉱業、電気機械工業等が低下した。

財別にみると、生産では、その他用生産財、資本財をはじめすべての財で上昇した。出荷では、その他用生産財、耐久消費財等が上昇し、鉱工業用生産財が低下した。在庫では、鉱工業用生産財、建設財が上昇し、耐久消費財、その他用生産財等が低下した。

■消費者物価指数（9月）

平成8年9月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で107.5（平成2年=100）となり、前月比0.7%の上昇、前年同月比0.3%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……シャツ・下着16.4%，衣料14.6%，乳卵類3.4%

今月の下がった主な項目……果物13.3%，油脂・調味料1.3%

生鮮食品を除く総合は107.9となり、前月比1.0%の上昇、前年同月比0.4%の上昇であった。

■費目別指数

（平成2年=100）

区分	指数	上昇率（%）		区分	指数	上昇率（%）	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	107.5	0.7	0.3	保健医療	104.8	0.7	1.7
食 料	104.8	△0.8	△0.5	交通通信	98.7	△0.3	△0.5
住 居	118.3	0.0	1.5	教 育	120.2	0.0	2.9
光熱・水道	102.0	0.0	△0.4	教養娯楽	107.9	△0.8	△0.7
家具・家事用品	93.7	0.8	△3.4	諸 雑 費	103.9	0.0	△0.7
被服及び履物	117.0	11.6	2.8	生鮮食品を除く総合	107.9	1.0	0.4